

■開催趣旨

次代を担う子どもたちが、いつ、どこで起こるかわからない災害に向けて、自分自身が暮らす地域では、どんな備えがしてあるか、見て歩き、これからの暮らし方を考える防災まちあるきの実施

■期日

2017年7月9日（日）9：00～12：00（3時間）

■会場

尼崎市立園田地区会館 1階 大会議室

■参加者

25名（子ども8名、高校生1名、保護者5名、子ども会育成者6名、青年リーダー5名）

■概要

災害への備えの大切さを伝える防災活動ハンドブック「子ども会でまなぼうさい活動BOOK」をもとに、防災・減災の視点でまちを見て歩き、日ごろからの暮らし方を考えた。

■実施スケジュール

時間	内容
9：00	あいさつ 園田地区子ども会 柴田光啓会長
9：05	オリエンテーション
9：10	お話し「阪神淡路大震災と尼崎市園田地区」
10：10	まちの再発見！防災まちあるき ・アイスブレーキング ・まちを歩いて探検する時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをまとめる時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをわかちあう時間 ・体験から感じたことをわかちあう時間
12：00	あいさつ 園田地区子ども会会長

■プログラム運営チーム

講師（語り部） 尼崎市子ども会連絡協議会副会長 阪田浩一
スタッフ・記録 子ども会防災リーダー 5名

■会場の様子



語り部



まちあるき



まちあるき



まとめ

■こどもたちによる防災の心得

- ・自分のまちをもっとよく知る
- ・避難生活ができる準備をしておく
- ・家族で逃げる場所、逃げる道を話しておく
- ・ヘルメットを用意しておく
- ・災害が起こったとき慌てず行動する
- ・大事なものをひとまとめにしておく
- ・濡れないようにする